

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール八反田		
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年1月13日		～ 2026年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動場所や環境が整備されており、多様な活動を実施できている。レゴやITアイテムを活用した支援を昨年度同様継続しており、専門支援療育も取り入れながら、幅広い体験ができる体制を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容のバランスを意識した計画的な実施 レゴやIT機器を活用したスキル支援 専門的視点を取り入れた療育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師を招いた活動の導入による支援内容の拡充 活動環境の継続的な見直しと整備
2	子どもの主体性を優先し、自己選択の機会を確保することで、主体的に活動へ参加できる支援を行っている。また、生活に即したコミュニケーションツールを確保し、子どもとの意思疎通が図れるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択・自己決定の機会の保障 実生活に即したコミュニケーション支援 日々の振り返りを通じた支援方法の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に応じた関わりの工夫の深化 主体性をさらに伸ばす活動設定の検討

3	情報共有シートが機能しており、職員間での支援内容の共有が円滑に行われている。また、活動内容を掲載した新聞作成に力を入れており、保護者からも楽しみにしているとの声があるなど、事業所内の様子が見える情報発信ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有シートを活用した支援内容の可視化 ・職員間での共有時間の確保と協議の実施 ・事業所新聞等による活動の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有シートの定期的な見直しと記載内容の充実 ・LINEや連絡帳アプリを活用した双方向の情報共有の強化 ・子どもの成長過程が伝わる情報発信の工夫
---	---	---	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や各種機関との連携が十分とは言えず、積極的な働きかけが不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や関係機関への継続的な働きかけが不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教員や外部専門職を招いた活動を実施し、子どもの様子を共有する機会を設ける ・連携体制の構築に向けた計画的な取組を行う
2	建物の設計上、階段を上らなければ入室できない構造であり、バリアフリーへの十分な配慮が難しい。また、避難通路が一か所である点も課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上の制約によるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を確実に実施し、安全な避難方法について継続的に協議する ・非常時の役割分担や手順の明確化を図る
3	支援の個別性について、十分に行き届いているとは言えない面がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援に充てる時間の確保が十分でない ・1、2年生を対象に取り組みを開始しているが、全児童に十分に行き届いていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ワークの拡大・充実 ・スケジューリングの見直しによる時間の確保 ・支援計画の定期的な見直しと実施状況の確認